

令和2年9月28日
県庁舎跡地活用室

県庁舎跡地埋蔵文化財の取扱いに関する外部専門家からの
意見聴取（第1回）の結果について

去る9月23日、外部専門家を招聘し、県庁舎跡地での現地説明及び意見聴取を実施した結果について下記のとおりお知らせします。

記

（招聘した外部専門家）

- ・服部 英雄氏【くまもと文学歴史館長】元文化庁調査官
- ・高瀬 哲郎氏【石垣専門家】元佐賀県立名護屋城博物館学芸課長

（概要）

現地において、石垣や町屋の状況などを確認し、その後意見聴取を実施。

（主な意見等）

- ・石垣については、奉行所の絵図と場所が一致しており、奉行所の石垣であると考えられる。新しい年代の石垣も含め価値あるものである。
- ・積み直しを繰り返しながら、400年余りに渡って維持されていることが重要。積み直し自体も歴史の変遷が分かり価値あるものである。
- ・現存する石垣を含め、全体像の把握に努めてもらい、活用について検討してほしい。
- ・崩れている部分など危険な箇所が幾つか見られ、現状のままで顕在化させることは難しいが、その他の部分については石垣のはらみ出しもなく、修復を行えば健全性に問題はないと考えられる。
- ・崩れた部分の修復については、積み直しをどの範囲まで行うかなど、方法等に留意する必要がある。
- ・石垣の顕在化等については、跡地全体の整備スケジュールとのバランスを取りながら対応を検討してほしい。